

質疑・討論

□平成31年第1回臨時会

(議案第4号)

吾北デイサービスセンターの指定管理者の指定

問 池沢議員

前管理者の社会福祉協議会の運営に対する指導は行ったか。

答 澁谷ほけん福祉課長

安定したサービスを確保するには、体制が整わず指定管理者の変更やむなしと判断した。

□平成31年第1回定例会

(議案第12号)

介護・障がい者サービスの共生型新設に関する条例改正

問 山岡議員

①新設される共生型サービスは「障がい者が65歳以上になっても、使い慣れた事務所においてサービスを利

用しやすく…」とあるが、

これは障害者福祉事業所でサービスを受けている方が65歳になれば介護保険優先適用によって介護保険事業のサービスに移行することか。

②地域の実情に合わせて(特に中山間地域など限られた福祉人材の有効活用)とあるが、柔軟な人材活用となると思うがサービスの質の低下とならないか。

答 澁谷ほけん福祉課長

①65歳になれば介護保険優先の原則があるので、介護度が出た方は介護保険のサービスに移行するが、今まで受けていた障がいサービスが介護事業サービスにない場合は引き続き障がいサービスを使ってもらうこととなる。

②サービスの質については、指定を受ける事業所は介護・障がい福祉いずれかの指定を受けている事業所が受けられることになる。現状も把握しながらサービスの質の低下とならないよう進めていきたい。

賛成討論

山岡議員

平成29年度の介護保険法改定に伴う条例改正だが、この改定は介護・医療・障がいサービスを受ける人にとって慎重な法整備こそ求められていた。

ところが安倍政権は、森友疑惑の質問攻めにあい、与野党合意の審議日程を無視し、首相質疑も地方公聴会も開催せず強行採決で決着させた。審議不十分な法改定だ。

また、今回の改定が介護・医療・障がい福祉の連携の名のもと、給付費削減や新たな負担増の方向性は問題と指摘しておく。介護・医療・障がい福祉サービス利用者に対し、保険者としてきめ細かいサービスを提供できる環境整備を強く求めて賛成する。

(議案第15号)

平成30年度一般会計補正予算

波川にこにご館トイレ改修

問 池沢議員

総務・財産管理費工事請負1540万円、多目的木造建築工事とにこにご館トイレ全面改修費7041万2000円などを含めた9322万6000円は、地方創生拠点整備交付金制度要綱平成31年2月7日一部改正によるか。申請状況と工事の詳細を。

答 岡村管財契約課長

平成30年度国の第二次補正での事業だ。国道33号も歩道改修予定と聞く。今あるにこにご館トイレを全面改修し2階建てとすると仁淀川の眺望もよくなる。開口部を広く木造もしくは、鉄骨で今後協議検討していく。厨房、事務室、室内飲食スペース、トイレなどを設けてよりインパクトのある施設にしたい。合わせて組み立て式仮設の多目的木造物を考えている。また、飲食以外の観光案内を他施

設と連携でき、さらに雨天時、冬の改善策としても、交流人口を増やしていけると考えている。

平成31年度上半期で設計を済ませ、年度内の完成を目指している。

(議案第21号)

平成30年度介護保険特別会計補正予算

給付費の減は

問 山岡議員

①本補正予算のみで全体的な傾向はつかめないが、在宅サービス給付費で700万円、地域密着型サービス給付費で200万円の減など、給付費全体で9350万円の減となっているが、保険者としてどう分析しているか。

②保険者機能強化推進交付金497万5000円の内示があったとのことだが、この交付金は自立支援や重度化防止に向けて市町村を競わせて財政支援を行うものだが、保険者としてどうとらえているか。